

グローバルで高い人気を誇る カプコンの主力IP

当社では『より多くの人々に当社のコンテンツを届けること』を目標に掲げ、多数のIPを創造してきました。

このパートでは、特に代表的なブランドについて紹介いたします。



「バイオハザード」シリーズ

悪夢のような絶望的状況から武器やアイテムを駆使して生還を目指すサバイバルホラーゲームとして、1996年に第1作を発売した当社の代表的タイトルです。ホラーゲームとしては例のない長期展開により、世界中のゲームファンからも高い支持を得られています。2026年には30周年を迎えると共に、シリーズ最新作である『バイオハザード レイクエム』の発売も発表されたことで、大きな期待を集めています。

累計売上本数

1億7,000万本



「ロックマン」シリーズ

ファミリーコンピュータ向けアクションゲームとして1987年に第1作目が発売されました。キャラクターのルックスと、それに反する硬派なゲーム性が人気となり、発売以降、ゲームソフトに留まらず、キャラクターブラッシュ、コミック、TVアニメや映画など多彩なメディアに展開され、幅広い年代から人気を博しています。

累計売上本数
4,300万本



「デビル メイ クライ」シリーズ

個性的なキャラクターや爽快なアクションが人気のスタイリッシュアクションゲームです。剣や銃、バラエティに富んだ武器を使用したアクション、精彩なグラフィックスは世界中で高評価を得ています。2025年4月にNetflixにて配信された新作アニメは、グローバルで初週に530万ビューを超えて、ランキング4位を獲得しました。

累計売上本数
3,300万本



「デッドライジング」シリーズ

2006年に発売された第1作は、大量発生したゾンビを撃退しながら事件の真相を突き止めていくアクションゲームですが、そのユーモア溢れる世界観や操作の爽快感がユーザーを惹きつけました。2024年9月には当社開発エンジン「RE ENGINE」によって、グラフィックの大幅な向上や操作性とアクション要素が刷新された『デッドライジング デラックスリマスター』を発売しました。

累計売上本数
1,800万本



「逆转裁判」シリーズ

プレイヤーが弁護士となって、無実の罪を着せられた依頼人を救う法廷を舞台とした法廷バトルゲームです。2001年10月に第1作を発売して以来、コミック、キャラクターブラッシュ、アトラクションなどへの展開に加えて、実写映画やアニメ、舞台、宝塚歌劇団による公演などいずれも好評を博しています。

累計売上本数
1,300万本



「ドラゴンズドグマ」シリーズ

剣や魔法が登場する王道ファンタジーの世界で自由な冒険が楽しめる、オープンワールドアクションゲームです。自ら行動する従者「ボーン」達と共に冒険する体験がグローバルに好評を得ています。2024年3月には、12年ぶりの最新作となる『ドラゴンズドグマ 2』を発売し、10日で販売本数250万本を突破しました。

累計売上本数
1,300万本



「鬼武者」シリーズ 2026年新作発売予定!

超人的な鬼の力を得た主人公の若武者と、世界征服を目論む怪物たちとの戦いを描いた剣戟アクションゲームシリーズです。2001年の第1作発売以降、シリーズを通して一貫した「バッサリ感」や、感動的でスリリングなシナリオが人気を得ています。

累計売上本数
870万本



「大神」シリーズ 新作プロジェクト始動!

日本画のようなタッチで表現された和の世界を舞台に、白狼の姿をした“大神”アマテラスとなって数多の生命を取り戻す冒険へ挑むアクションアドベンチャーゲームです。独自のゲームシステム“筆しらべ”をはじめ、独創的な世界観と心温まるストーリー、胸躍る冒険で大きな反響を呼びました。

累計売上本数
460万本



「ストリートファイター」シリーズ

1987年に業務用ゲーム機として登場した対戦格闘ゲームの金字塔です。1992年に発売されたスーパーファミコン版『ストリートファイター II』は全世界で630万本を販売しました。最新作である『ストリートファイター VI』は、複雑なコマンド入力をせずに必殺技を出せる「モダンタイプ」やゲーム体験を補助する「サウンドアクセシビリティ」等の取り組みにより、幅広い層に楽しんでいます。さらに、eスポーツ大会「CAPCOM CUP 11」も活況を呈しました。

累計売上本数

5,600万本